

令和7年12月5日  
神奈川県剣道連盟

## 神奈川県称号審査会・受審者講習会の開催について

### 1 剣道(称号審査)関係

- ・ 神奈川県称号審査会・受審者講習会の開催について
- ・ 称号 県審査受審要領
- ・ 剣道錬士・教士称号審査会 受審申告書 (県剣連会長宛)
- ・ 錬士 受審申請書(本人用) (全剣連提出用)
- ・ 錬士 受審申請書(本人用) 特例錬士用 //
- ・ 錬士 候補者推薦書 特例錬士用 //
- 特例錬士を受審される方は、資格等の事前審査を行いご本人に連絡いたしま
- ・ 教士 受審申請書(本人用) (全剣連提出用)

### 2 日 程 締め切り日等

区 分	開催日時	場 所	< 県剣連締切日 >
神奈川県称号審査会	2月7日(土) 9:00 ~ 12:00	県立武道館	12月26日(金) 事務局必着の事
受審者講習会(座学)	2月7日(土) 13:00 ~ 15:00	県立武道館	

< 全剣連 > 錬士・教士 筆記試験	全剣連より要項が届き次第お知らせいたします。

以 上

令和7年12月5日  
神奈川県剣道連盟

剣道・居合道・杖道 称号審査 受審者講習会 (座学) の開催について

掲記の件につきまして、全剣連の称号審査で当県よりの受審者が不合格となるケースがあり、剣道連盟では全員合格を目標に受審者全員（一部除く）に講習会出席を制度化しました。

従いまして <神奈川県剣道称号審査会受審者>は、講習会出席が必須(一部除く)となりますので、申し込みは不要です。

尚、受審予定者以外で講習会を受講されたい方、<居合道部><杖道部>で受講される方は、下記用紙でお申し込みの上、講習会当日会場で受講料をお支払い下さい。

記

- 1. 開催日時 : 令和8年2月7日（土） 13:00～15:00
- 2. 開催場所 : 神奈川県立武道館
- 3. 担当講師 : 教士八段 田島東海男 先生  
錬士・教士： 提出論文への取り組み方・まとめ方等
- 4. 受講料 : 1,000円 2月7日（土） 講習会当日 会場にて納入して下さい。
- 5. 申込締切 : 令和7年12月26日（金） 剣道連盟事務局必着の事

----- きりとり -----

神奈川県剣道連盟 事務局 宛 <FAX 045-321-6176>

受講者 : なし 受講者が居ない場合も必ず連絡して下さい

受講 申し 込み 書	1		才	男・女
	2			男・女
	3			男・女
	4			男・女
	5			男・女

支部

担当者：

電 話：

FAX：

受講料 1,000円／人： 円

以 上

神奈川県称号審査会(剣道：錬士・教士)受審要項

1. 県 称 号 審 査 会 : 令和 8 年2 月 7 日(土) 9:00 集合(厳守)神奈川県立武道館  
称号審査講習会                               "                               13:00 開始予定                               "  
(受審者の人数により終了時間が変更になる場合もあります)
2. : 添付の「受審要項」を参照して下さい。
3. 申 し 込 込 締 切 : 令和7年12月26日(金) 剣道連盟事務局必着 (受審料は所定の口座にお振込下さい)
4. 提 出 書 類 等

項	内 容	以下の書類に自筆で記入し、所属支部剣連に申し込む	錬 士		教 士
			一 般	特 例 者	
1	受審資格	県剣道錬士・教士称号審査会 受審申請要項を満たしている者	○	○	○
2	提出書類	剣道称号審査会 受審申告書 .....県剣道連盟会長宛	○	○	○
		資格証明資料を添付 .....会員証・受講証明 等のコピー	○	○	○
		錬士受審申請書(本人用).....段位様式第 5 号様式	○		
		特例 錬士受審申請書(本人用).....段位様式第 9 号様式		○	
		特例 錬士候補推薦書.....段位様式第 10号様式		○	
		※ 特例 錬士申請者は、資格等の事前審査を行い受審の可否をご本人に連絡いたします。			
		全剣連より要項が届き次第、論文提出締切日をお知らせいたします。	○	○	○
3	受審料	教士受審申請書(本人用).....段位様式第 4 号様式			○
		社会体育指導員認定者(中級・上級).....認定書のコピー	○	○	○
		県審査会審査料 .....受審申し込みの際各支部に納入	10,000円		14,000円
4	装具等	全剣連審査料 .....当日＜県審査会合格者＞は納入	7,000円		10,000円
		剣道着・袴・剣道具・木刀(大・小) 持参して下さい	○	○	○

5. ＜ 全 剣 連 ＞ 論文課題 全剣連より要項が届き次第お知らせいたします。
6. 添 付 資 料 : ① 神奈川県剣連資料   錬士・教士 称号審査申請資格・県称号審査受審要項  
                  : ② 申請書類                               県剣連提出用 ×1種類 ・ 全剣連提出用 ×4種類
- ※ 申請書類は必ず添付の用紙をコピーして申請して下さい。旧形式の書式やFAXで受信した用紙は使用出来ません。

## 神奈川県称号審査会（剣道 錬士・教士）要項（一部改定）

**\* 受審規程の実施期間は 令和7年9月～令和8年2月 までとする。**

### 錬士号

#### 受審資格

- ◎ 六段・七段受有者で 取得後 1年 を経過した者  
受審日以前2年間に「県剣道連盟」主催以上の講習会に参加し ①～④ の条件を満たしていること
  - ① 日本剣道形 2回 以上 但し、社会体育指導員（中級・上級）認定者は <出席免除>
  - ② 審判法 2回 以上
  - ③ 指導法（合同稽古会） 2回 以上
  - ④ 審判経験 無し
- ◎ 五段受有者で、五段取得後 10年以上 経過し 年令 60才以上 の者  
受審日以前2年間に「県剣道連盟」主催以上の講習会に参加し ①～④ の条件を満たしていること
- ◎ 六段・七段取得後 1年 を経過した者で、全剣連社会体育指導員資格（中級・上級）認定者は  
全剣連の<小論文提出>が免除されます。 但し、②～④ の条件を満たしていること

### 神奈川県 審査会

- ① 審判実技 : 主審1回 ・ 副審2回 を行う。
- ② 日本剣道形 : 打太刀 ・ 仕太刀 両方 を行う。
- ③ 講習会（座学：全剣連の称号本審査に提出する「小論文」作成方法について（当日開催）  
社会体育指導員資格（中級・上級）認定者を除く全員出席のこと

※ 受審申告書に支部長の承認を受ける

### 教士号

#### 受審資格

- ◎ 錬士七段受有者で、七段取得後2年を経過した者  
受審日以前2年間に「県剣道連盟」主催以上の講習会に参加し ①～④ の条件を満たしていること
  - ① 日本剣道形 2回 以上 但し、社会体育指導員（中級・上級）認定者は <出席免除>
  - ② 審判法 2回 以上
  - ③ 指導法（合同稽古会） 2回 以上
  - ④ 指導歴を記入
- ◎ 錬士七段受有者で、七段取得後2年を経過し、全剣連社会体育指導員資格（上級）認定者は  
全剣連の「学科試験」が免除されます。 但し、②～④ の条件を満たしていること

※ 受審申告書に支部長の承認を受ける

### 神奈川県 審査会

- ① 審判実技 : 主審1回 ・ 副審2回 を行う。
- ② 日本剣道形 : 形の何本目かを指定し、解説・実施させる。
- ③ 講習会（座学：全剣連の称号本審査に向けての 学科試験の取り組み方について（当日開催）  
社会体育指導員資格（上級）認定者を除く全員出席のこと。

# 神奈川県称号審査会(剣道 錬士・教士)申請資格 受審要項 (一部改定)

**\* 受審規程の実施期間は 令和7年9月～令和8年2月 までとする。**

## <剣道 錬士・教士 審査受審規程>

<神奈川県剣道連盟 審査規程>						<全剣連>
称号	受審資格	受審日以前〔2年間〕に県剣道連盟主催以上の講習会に参加し、 剣道手帳に規程回数の受講印のある者 (錬士・教士 共通)				審査規程
		日本剣道形 講習会	審判法 講習会	指導法 (合同稽古会)	審判経験 指導歴	
錬士	六段取得後 1年 を経過した者	2 回以上	2 回以上	2 回以上	無し	論文提出
	<特 例> 五段取得後 10年 を経過 年令 60才以上の者	2 回以上	2 回以上	2 回以上		
	六段 取得後 1年 を経過した者で、 全剣連 社会体育指導員資格(中、上級)認定者	< 免 除 >	2 回以上	2 回以上		論文提出 <免 除>
教士	錬士七段取得者で、七段取得後 2年 を経過した者	2 回以上	2 回以上	2 回以上	「剣歴」「指導歴」 受審申請書に記入する	論文提出
	錬士七段取得者で、七段取得後 2年 を経過し、 全剣連 社会体育指導員資格認定者	社会体育 中級、上級 <免 除>	2 回以上	2 回以上		社会体育上級 <免 除>

※ 受審申告書に支部長の承認を受ける

## <神奈川県称号審査会(剣道 錬士・教士) 審査項目・講習会>

区 分	日本剣道形	審判法	講習会(座学)	
錬士	(打太刀・仕太刀)両方を行う	(主審：1回)(副審：2回)を行う	全剣連審査に 向けての講習を 全員受講	社会体育(中・上級)認 定者 <免 除>
教士	指定された何本目かを 解説しながら行う	(主審：1回)(副審：2回)を行う		社会体育(上級) 認定者 <免 除>